

設 立 趣 旨 (合併)

公益財団法人東燃ゼネラル石油奨学会（旧財団法人ゼネラル石油奨学会、1957年設立）と公益財団法人東燃ゼネラル石油研究奨励財団（旧財団法人ゼネラル石油研究奨励財団、1981年設立）は、理工科系学生への奨学援護と、若手研究者の研究開発活動への助成というそれぞれの事業を通じて、ささやかではありますがわが国経済の発展に寄与してまいりました。

昨今、工業技術の分野では、世界的な競争激化や緊縛の課題である地球温暖化問題などに対処するため、様々な分野で革新的な取り組みが求められております。ただ、一方では、若い世代での工業技術に対する関心度の低下という懸念材料があります。学生から若手研究者への切れ目ない人材の育成は、我が国産業の基礎体力を強化し、産業立国への道筋を確固たるものにするために不可欠です。両財団の活動はこれまでもまして意義あるものになると確信しております。

このような認識に基づき、昨年春に両財団が公益財団法人に認定されたのを機に、財務基盤の強化、組織運営体制の効率化、事業の整合化を検討してまいりました。その結果、両者を統合することが望ましいとの結論に至りました。具体的には、公益財団法人東燃ゼネラル石油奨学会が東燃ゼネラル石油研究奨励財団の地位を継承し、公益財団法人東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団として再発足することとし、近日中に内閣府に認定申請を行います。

公益財団法人東燃ゼネラル石油奨学会と公益財団法人東燃ゼネラル石油研究奨励財団は、それぞれに理工科系大学を事業活動の対象としてきましたが、その活動は必ずしも連携のとれたものとはいえませんでした。両財団を統合することにより、奨学援護から工業技術の研究助成まで一貫した事業が展開することが可能となります。公益財団法人東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団の活動につきましては、当面それぞれに長い歴史を持つ両財団の活動をそのまま引き継ぐことにしておりますが、将来的には時代の要請に応じて活動の重点を見直し、更には、活動を強化することを検討していきます。

平成27年1月1日

公益財団法人

東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団 役員一同

目的及び事業（定款に掲載内容抜粋）

（目 的）

第3条 この法人は、大学理工科課程の学生・大学院生に対し奨学援護を行うとともに、若手研究者の科学技術に関する研究開発の奨励及び助成を行うことにより、わが国の工業の発展と産業における生産技術の振興を図ることを目的とする。

第4条

（事 業）

第5条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1）奨学金の給与
- （2）奨学資金を受ける学生・大学院生の指導
- （3）科学技術に関する研究開発の奨励
- （4）科学技術に関する調査研究の助成
- （5）科学技術の研究の成果の普及に関する助成
- （6）その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

以上